

① 今年度の活動報告

(1) 異常気象分析検討会の臨時開催(8月3日) 2009年7月の不順な天候についてWEB会議を開催。

【臨時開催の流れ】

- 7月29日(水) 夜、臨時会開催の案内をメーリングリストに流す。
- 7月31日(金) 早朝、検討資料をWEBに掲載する。
- 7月31日(金) 夕方、見解素案を送付する。
- 8月1日(土) (事務局作業)
- 8月2日(日) (事務局作業)
- 8月3日(月) 16~17時、WEB会議開催。18時、記者レクを行う。

昨年度の定例会でご提示した「開催決定から8日程度で報道発表を行う」という計画を実現できた。

① 今年度の活動報告

(2) 第2期委員委嘱(6月)

(3) 第2期作業部会委員委嘱(9月)

委員・作業部会委員ともに、任期は原則2年以内と定められている。任期の更新時期に合わせて、気象庁長官による委嘱手続きを行った。

- 山形委員、鬼頭委員はご退任。残りの委員には留任していただいた。
- 升本委員と藤部委員に新たに加わっていただいた。
- 作業部会委員は、全員、留任していただいた。

(4) 「異常気象と長期変動」研究集会(於 京大防災研究所)
に参加された委員との打ち合わせ(10月)

① 今年度の活動報告

(5) ITACS認証付公開の開始(5月)

異常気象分析ツール (Interactive Tool for Analysis of the Climate System, ITACS) について、昨年度の定例会でご了解いただいた、「委員・部会委員にご紹介いただいた研究者」および「外国気象機関の担当職員」への認証付公開を開始した。

- ▶ 現在26ユーザー(国内2、海外24)が登録。
- ▶ スリランカ、ラオス、タイのユーザーの利用が活発。

(6) ITACSの機能追加(年度内)

- ▶ 堀之内 部会委員のご協力により、DennouRubyプロジェクトで公開されているクラスを利用し、オブジェクト指向構造化に書き換える。
→ データ・解析手法の追加を容易にする。(GPCPによる降水量データの追加)
- ▶ グラフィックオプションの充実

② 来年度の活動計画

(1) 異常気象分析検討作業部会員との協力体制

年度の前半に作業部会員の先生方を訪問し、気候解析手法の提供・開発の依頼や最新の知見の提供をお願いします。

(2) ITACSの機能追加

年度内に1か月予報値を取り扱えるようにする予定。

(3) LBM(T42)の過去事例のITACS搭載とルーチン計算の開始。

(4) 異常気象分析検討会の開催

第4四半期の開催を予定しているほか、異常気象時には随時対応する。